

教育原理	1年 後期			講義2単位	担当教員名	小松 督記
	卒選	幼必	保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ : 人間の発達の理解、教育の歴史的理解、日本・諸外国の学校制度理解及び教育の現代的課題を考える。 ② 目標 <ol style="list-style-type: none"> 1 教育の意義、目的及び児童福祉等とのかかわりについて理解する。 2 教育の思想と歴史、教育に関する基礎的な理論について理解する。 3 日本や諸外国の教育の制度等について理解する。 4 生涯学習社会における教育の現状と課題について考える。 						
授業の概要 人間の生涯発達における教育の意義・目的、「子ども観」・「教育観」の変遷や日本・諸外国の教育の歴史・現在、教育制度、現代の教育課題、子どもの教育に携わる者としてのあり方等について理解を深める。教育に関する全般的な事柄の理解、そして、「教育とは何か」について深く考える。						

授業計画

コマ(回)	項目	内容
1	I 子どもの教育の基礎理論	教育とは何か ○人間形成と教育 ○発達過程と個性を配慮した子どもの教育 ○子どもの福祉としての教育
2		子どもの教育の今日的課題 ○「生きる力」をめぐって ○基本的信頼関係と基本的生活習慣を捉え直す
3		家庭教育 ○家庭教育の機能 ○家庭教育を支える法制度 ○家庭教育の現状と課題
4		学校教育 ○学校教育の機能 ○学校教育の法制度
5		
6		社会教育と生涯学習 ○社会教育と生涯学習の概念と機能 ○社会教育と生涯学習の法制度 ○社会教育・生涯学習の現状と課題
7		カリキュラム ○カリキュラムとは何か ○カリキュラムの類型 ○教育の方法 ○カリキュラム開発
8	II 子どもの教育の歴史と現在	子ども観と教育観の変遷 ○古代・中世の子ども観・教育観 ○近代の子ども発見と教育可能性と権利主体としての子ども
9		世界の子ども教育の歴史と現在 ○学校の誕生とその歩み ○公教育制度としての学校の誕生とその普及 ○現代の世界の学校
10		日本の子ども教育の歴史と現在 ○日本の教育の源流 ○日本の近代学校制度
11		
12	III 子どもの教育のこれから	幼児期の科学教育 ○子どもがもつ高度な知識や思考 ○幼児期の科学教育の方策
13		子どもの教育とマネジメント ○教育の経営学 ○子どもの教育と評価 ○PDCAサイクルと子どもの教育マネジメントのこれから
14		子どもと教育専門職 ○人は人から学ぶ ○人は人と学ぶ
15		
定期試験	後期末試験で実施する。	
テキスト	「子どもの教育原理」 北野 幸子 編著 (建帛社)	
参考図書	幼稚園教育要領解説	
教員の評価方法	学習への関心・態度(20%)、小論文(20%)、定期試験(60%)から総合的に評価する。	
準備学習等履修上の留意点	授業後の小論文、次時の予習	